

# 令和2年度決算の概要



名古屋高速道路公社



## 目 次

◆ 令和2年度決算のポイント .....	1
◆ 令和2年度損益計算書の概要 .....	2
◆ 令和2年度貸借対照表の概要 .....	3
<参考資料>	
◆ 会計処理の特徴 .....	4

## ◆令和2年度決算のポイント



■令和2年度決算のポイントは、以下のとおりです。詳細は、次ページ以降をご覧ください。

- ① 道路料金収入は、交通量の減少により、前年度から100億円減少し、670億円となりました。
- ② 道路管理費は、前年度から86億円減少し、294億円を充てました。  
大規模修繕、ETC関連機器の更新などを実施しました。
- ③ 償還準備金繰入(借入金の返済に充てた額)は、前年度から5億円減少し、298億円を繰り入れました。  
償還準備金(償還準備金繰入の累計額)は、前年度から298億円増加し、7,455億円となりました。

# ◆ 令和2年度損益計算書の概要



(単位:百万円)

勘定科目	費用の部				勘定科目	収益の部			
	2年度	元年度	前年度比			2年度	元年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
事業資産管理費	30,316	38,989	△ 8,673	77.8	業務収入	67,652	77,665	△ 10,013	87.1
道路管理費 (内消費税納付金)	29,424 (3,527)	37,986 (3,583)	△ 8,562 (△56)	77.5	道路料金収入	66,996	77,002	△ 10,007	87.0
貸倒引当金繰入	1	+0	1	362.1	マイレージ還元負担金収入	530	587	△ 57	90.3
マイレージ還元負担金	891	1,003	△ 112	88.8	マイレージ引当金戻入益	8	6	2	136.6
一般管理費	1,897	2,004	△ 107	94.7	業務雑収入	119	70	48	168.5
業務外費用 (内借入金利息)	5,705 (5,523)	6,404 (6,193)	△ 699 (△669)	89.1	業務外収益	103	102	+0	100.4
小計(管理費用)	37,917	47,396	△ 9,479	80.0					
償還準備金繰入	29,837	30,371	△ 534	98.2					
合計	67,755	77,767	△ 10,013	87.1	合計	67,755	77,767	△ 10,013	87.1

(注)端数処理の関係上、計及び比率(A/B)において合わないことがあります。

- 収益の状況…○ 収益の総額は678億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入となっています。  
○ お客様からの道路料金収入は、前年度から100億円の減少となりましたが、これは交通量の減少によるものです。
- 費用の状況…○ 費用の総額は、678億円であり、主なものは、道路の維持補修や料金収受などに要した道路管理費294億円(消費税納付金含む。)、業務外費用(借入金利息など)57億円及び借入金の元金返済に充てた償還準備金繰入298億円となっています。  
○ 道路管理費は、前年度から86億円の減少となりましたが、これは修繕費の減少によるものです。  
○ 償還準備金繰入は、収益・費用の状況により、前年度から5億円の減少となりました。

# ◆ 令和2年度貸借対照表の概要



(単位: 百万円)

資 産 の 部					負 債 及 び 資 本 の 部				
勘 定 科 目	2年度	元年度	前年度比		勘 定 科 目	2年度	元年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
流 動 資 産	19,460	9,893	9,567	196.7	流 動 負 債	80,808	81,346	△ 538	99.3
現金・預金など	12,022	2,640	9,383	455.5	1年以内返済予定長期借入金※	66,928	67,773	△ 844	98.8
未収金	7,440	7,254	186	102.6	未払金など	13,880	13,573	307	102.3
貸倒引当金	△1	△0	△1	362.1	固 定 負 債	554,882	572,970	△ 18,088	96.8
固 定 資 産	1,678,962	1,677,113	1,849	100.1	名古屋高速道路債券※	420,000	416,500	3,500	100.8
道 路	1,674,969	1,674,293	676	100.0	政府借入金※	58,872	72,360	△ 13,488	81.4
道路建設仮勘定	3,571	2,277	1,293	156.8	県・市借入金※	52,491	63,946	△ 11,455	82.1
有形固定資産など	422	543	△ 121	77.7	長期借入金など※	15,328	11,974	3,354	128.0
繰 延 資 産	1,009	1,003	6	100.6	退職給与引当金	930	921	9	100.9
					ETCマイレージ引当金	239	247	△ 8	96.9
					資産見返交付金	7,022	7,022	0	100.0
					特別法上の引当金等	745,493	715,656	29,837	104.2
					償還準備金	745,493	715,656	29,837	104.2
					基本金(県・市出資金)	318,248	318,038	210	100.1
資 産 合 計	1,699,432	1,688,009	11,422	100.7	負 債・資 本 合 計	1,699,432	1,688,009	11,422	100.7

(注)端数処理の関係上、計及び比率(A/B)において合わないことがあります。

■ 資産の状況…○資産の総額は1兆6,994億円となっています。このうち道路資産は1兆6,750億円であり、資産全体の99%を占めています。

■ 負債及び資本の状況…○負債及び資本の総額は1兆6,994億円であり、主なものは、道路債券を含む借入金6,136億円※、元金返済に充てた償還準備金7,455億円、設立団体の愛知県・名古屋市からの出資金3,182億円となっています。  
○建設に要した借入金につきましては、全額、お客様からの料金収入で返済していくものです。

## ◆ 会計処理の特徴



- 当会社では、企業会計原則に準じた会計処理を行っていることにより、財政状態や経営成績が明らかになっております。
- 有料道路事業は、出資金・借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により返済していくものであり、全ての返済を終えると、本来の道路管理者に引き渡すことになっていることから、借入金が着実に返済されているかどうかを会計処理において適切に把握することが重要です。
- 「道路資産」においては、企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上しておりません。
- 借入金の返済に充てた年度の「収支差」(収益と費用の差)を「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。
- 「道路資産」の額と「償還準備金」の額の対比により、道路に投下した資金の償還状況がわかるしくみになっています。